

分科会 19

これからの働き方を語ろう

働く人のミーティングCAT実行委員

荒木翔、加藤龍、下斗米真美(NPO法人NECST)

【CATについて】

働く人のミーティングCATは、東京と千葉で主に精神障害をもちながら働く人が集まり、支援者や家族にはわからない、精神障害を持ちながら働く人の悩みや役に立つ情報を話し合っているグループです。

【分科会の流れ】

今年のテーマは昨年と同じ「これからの働き方を語ろう」でした。

①就業中の3人の方に体験談を話してもらいました。精神障害を持っていますが、1人1人違った仕事に対する想いがあり、とても伝わってきました。

②6グループ(7~8人)に分かれてテーマに沿って話をしました。以下テーマです。

- 働くうえで苦労したこと、どう乗り越えたか？
- 自分が困った時に、支援者、職場、上司、同僚とのコミュニケーション
- 自分がスキルアップするために、どうしたらよいか？
- いつも健康に生活と仕事が安定するためには？

実際のCAT同様に、参加者の方がテーマについて考え、感じ、正しい答えを求める事なく、自由に発言ができていたような気がします(自由な発言ができる雰囲気できていました)。最後にグループ毎に参加者の方から発表していただき、情報と感想を共有しました。

【分科会を終えて】

ある参加者の方から、「話を聞くだけでなく、自分の話ができよかった」と言っていました。

CATでは働く人の話をとても大切にしています。

分科会で自分の言葉を誰にも染められない空間ができていたとしたら、それは自由な発言ができるリカバリーフォーラムのおかげだと改めて感じました。

参加して頂いた皆様、ありがとうございました。

《荒木翔(NPO法人NECST)》